

## 1. Course Description

アスレティックトレーナー(以下:AT)は、誰からも慕われる人間性、思いやりのある人柄が重要であり、競技者やチームのために献身的に時間を費やし努力するという姿勢が大切です。本授業では、オムニバス形式でATの歴史から、業務内容(①スポーツ外傷・障害の予防②スポーツ現場における救急処置③アスレティックリハビリテーション④コンディショニング⑤検査・測定評価⑥健康管理と組織運営⑦教育的指導)および医師やコーチ、監督との連携についての役割も学習します。ATとしての高い倫理観を養成する基礎となるものです。また、ゲストスピーカーとして、トレーナー課程卒業生による講話も予定しています。

この授業では、DP1に関連したスポーツ医科学の知識を修得します。

## 2. Course Objectives

- ・ATの7つの役割について説明できる。(知識・理解)
- ・各国におけるATの歴史と動向について説明できる。(知識・理解)
- ・スポーツドクター、コーチ、監督との連携の意義について説明できる。(知識・理解)
- ・選手の健康管理と法的諸問題について説明できる。(知識・理解)
- ・AT倫理について説明できる。(知識・理解)

## 3. Grading Policy

平常点(授業への参加度合、積極性等)10% レポート課題40% 定期試験テスト50%

## 4. Textbook and Reference

Textbook

必要に応じてプリントを配布します

Reference

日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①「アスレティックトレーナーの役割」 文光堂

## 5. Requirements(Assignments)

1回の授業あたり30分間の予習と1時間程度の授業内容の復習が必要となります。

## 6. Note

学生トレーナーとしてのライフ・スタイルを確立していくために規則正しい生活や挨拶、礼儀を常日頃から意識して実施して下さい。

## 7. Schedule

- |      |  |
|------|--|
| [1]  | ガイダンスとアスレティックトレーナーの役割概論(剣持)            |
| [2]  | アスレティックトレーナー業務の実際 大学内の現場実習(庄司)         |
| [3]  | アスレティックトレーナー業務の実際 高校部活動における現場実習(庄司)    |
| [4]  | アスレティックトレーナー業務の実際 外部団体における現場実習(庄司)     |
| [5]  | アスレティックトレーナー業務の実際 予防とコンディショニング(庄司)     |
| [6]  | アスレティックトレーナー業務の実際 アスレティックリハビリテーション(庄司) |
| [7]  | アスレティックトレーナー業務の実際 スポーツ障害・外傷の予防(庄司)     |
| [8]  | アスレティックトレーナー業務の実際 教育的指導(庄司)            |
| [9]  | アスレティックトレーナー業務の実際 スポーツ現場における救急対応(剣持)   |
| [10] | アスレティックトレーナー業務の実際 検査・測定と評価(剣持)         |
| [11] | アスレティックトレーナー業務の実際 健康管理と組織運営(剣持)        |
| [12] | 医科学スタッフとの連携・協力(剣持)                     |
| [13] | 組織の運営と管理(剣持)                           |
| [14] | アスレティックトレーナーの社会的立場と倫理(剣持)              |
| [15] | テスト、まとめ(剣持)                            |